

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	グループホーム独自の運営理念があるので、法人理念とあわせ、朝礼時に法人の理念、グループホームの理念唱和することで日々の業務の中に理念が生かされていることの再認識が必要。	グループホームの全職員が、グループホーム独自の理念を熟知し、日々の業務に生かす。	毎朝、グループホームの理念の唱和を行い、実践している。	即実行済み
2	(11)	受診対応は、基本的に家族対応だが、ご家族の都合等で家族対応が困難な際の受診対応について検討が必要。	受診時の柔軟な対応を可能な限り行なう。	緊急時、やむを得ない場合に限り、出勤職員の人数の状況に応じて、受診の対応を行なえるよう取り組む。	6ヶ月
3	(15)	毎日、ご利用者と出勤職員全員と一緒に同じ昼食を食べることは、昼食費の関係等で、即、実行は出来ないが、検食者以外でも、ご利用者と一緒に同じ食事を食べれる環境作りを検討。	ご利用者と同じ食事を食べれる環境を作り、共有の話題提供をする。	月に何回か、出前デーや、お好み昼食会等、食事に工夫を凝らしたメニューの時に、一緒に同じ物を食べられるように施行。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月